

CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 7月に肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyotoを開催します
- 「第2回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム」の参加者を募集します

支援ツールのお知らせ

- 目標8のハウツーガイドを更新しました

参加団体の活動紹介

- 日本呼吸器外科学会の活動

フォーラム・セミナー等のご案内

ひとことアドバイス

- 静脈血栓塞栓症予防における合併症に要注意(目標2)

- 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーができました！
→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更等に関するQ&A
→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)
- キャンペーンポスターをご利用ください
完成版→ http://kyodokodo.jp/shiryoku_koho.html
基本デザイン→ [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに 心よりお見舞い申し上げます

[災害時の医療安全](#) [質問掲示板](#) [災害時のプライマリーケアに必要な知識]

* [公開ページ/トップ](#) からご覧ください

共同行動からのお知らせ

7月に肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyotoを開催します

7月23日(土)・24日(日)に「肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto」を下記のとおり開催いたします。「真の世界標準静脈血栓塞栓症予防の普及を目指す、医療安全全国共同行動」として、世界と日本から見た予防の問題点を比較討論し、共に肺塞栓症による死亡者を減少させるキャンペーンを実行し、医療者と行政と市民が共に手を取ることで真の予防を探求します。ぜひご参加ください。

* 詳細内容、申し込み方法は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110723.pdf> をご覧ください。

ポスター、チラシ、パンフレットもダウンロードできます。

2011年7月23日(土)・24日(日)

肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto

肺塞栓症予防国際フォーラム/肺塞栓症予防セミナー/市民公開講座

主催 医療安全全国共同行動

肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto 実行委員会

肺塞栓症予防セミナー

7月23日(土) 10:20~18:00(9:30開場、機器展示開始)

※開始時間が変更になりましたのでご注意ください。

会場 みやこめっせ 第1展示場 <http://www.miyakomesse.jp/>

受講料 8000円(交流会参加の場合は別途1000円)

[おもなプログラム]

《緊急企画》モーニングレクチャー (共催: グラクソ・スミスクライン(株))

健康な人でもなる静脈血栓塞栓症 ー震災後のエコノミークラス症候群から学ぶことー

★当日、会場に避難所用簡易段ボールベッドを展示します。

周術期VTE予防支援セミナー I

周術期肺塞栓症予防の現状、抗凝固薬の安全な使用方法について

ランチョンセミナー (共催: 日本シャーウッド(株) & 持田製薬(株))

肺塞栓症の早期診断と治療について

術期VTE予防支援セミナー II

VTE予防における薬剤と医療機器の効果、肺塞栓症発症時の緊急対応

周術期VTE予防支援セミナー III

世界の静脈血栓塞栓症の標準的な予防、医療機関の地域連携の必要性

イブニングセミナー (共催: 科研製薬(株) & 第一三共(株))

将来の静脈血栓塞栓症予防を考える

市民公開講座

今だから知りたいエコノミークラス症候群(静脈血栓症)

ー妊娠と出産時、手術時、災害時の医療安全ー

7月23日(土) 14:00~17:35

会 場 みやこめっせ 大会議室 <http://www.miyakomesse.jp/>

入場無料(交流会参加の場合は別途1000円)

[おもなプログラム]

第1部 「安全な医療」のために市民みんなができること

エコノミークラス症候群予防の活動報告/日常と災害時のエコノミークラス症候群をふせぐ

第2部 「安全な出産」のための血栓症の予防ープレママとドクターのコラボレーション

プレママが知りたい! 帝王切開術と血栓症/プレママが知りたい! 血栓症の予防と地域の医療コラボレーション

第3部 「安全な手術」のための血栓症予防ー患者とドクターのコラボレーション

整形外科で起こる血栓症の予防/外科で起こる血栓症の予防

肺塞栓症予防国際フォーラム

7月24日(日) 14:00~17:00 ※開始時間が変更になりましたのでご注意ください。

会 場 グランドプリンスホテル京都 ゴールドルーム <http://www.princehotels.co.jp/kyoto/>

入場無料

[おもなプログラム]

基調講演 Mr.Andrew Gwynne(血栓塞栓症予防議員連盟議長)

高久史磨(医療安全全国共同行動議長)

パネルディスカッション

座 長 Dr.Roopen Arya(英国ロンドン・キングズカレッジ)

パネリスト 政府関係者、医療従事者、研究者、患者団体等から予定

参加予定国 日本、英国、米国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ドイツ(日英同時通訳あり)

「第2回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム」の参加者を募集します

行動目標5a「医療機器の安全な操作と管理—輸液ポンプ・シリンジポンプ」の支援チームが、テルモメディカルプラネックスを利用して、医療安全担当者・輸液ポンプ教育担当者を対象に、医療安全要素を取り入れた指導者向け研修プログラムを8月24日(水)・25日(木)に開催します。

このプログラムの特徴は、精密医療機械である輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使い方を、看護ケアに即したシナリオシミュレーションで学べる内容となっていることです。さらにその教育指導の担い手になっていく人材育成を目的としています(使用した教育教材一式を持ち帰って活用できます)。* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110824.pdf> をご覧ください。

〈第1回研修参加者の感想より〉

今回、素晴らしい環境の下、多くのスタッフの皆様の下で「医療の安全」と「研修の運営方法」について学習できたことは医療従事者として嬉しく思い、またたくさんの感動を胸に刻むことができました。今後は御世話になった第1期生でお互いの施設での進捗状況等を意見交換していきたいと思います。そして、この感動と知識・経験を財産に一人でも多くの医療従事者へ伝達していきたいと思います。



2011年6月15日(水)・16日(木)に開催された「第1回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム」

● 薬剤師向け情報誌「パレット」に掲載された共同行動の紹介記事をパートナーズ専用ページにアップしました。ぜひご覧ください。

・ **パレット81号(2011年1月)「医療安全全国共同行動」レポート①**

「医療安全全国共同行動」2年間の総括と今後の展望

・ **パレット82号(2011年4月)「医療安全全国共同行動」レポート②**

行動目標S「安全な手術—WHO指針の実践」安全な手術は、円滑なコミュニケーションから

* パートナーズ専用ページ(参加登録施設・参加団体・支援チーム向けのページです)

[パートナーズ専用ページトップ](#) (ログインIDとパスワードは参加登録時にお知らせ) → 「参考資料」

支援ツールのお知らせ

目標8のハウツーガイドを更新しました

目標8のハウツーガイド(Ver.3)をアップしましたので、ご活用ください。

* [公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「9つの行動目標と推奨する対策」](#) → 「支援ツール一覧/行動目標8/ハウツーガイド」 → 閲覧登録してお入りください(無料でどなたでも簡単に登録できます。 [閲覧登録はこちら](#))

参加団体の活動紹介

日本呼吸器外科学会の活動

医療安全教育の充実とガイドライン作成で医療安全に取り組む

呼吸器外科領域は結核が下火になり肺癌の外科が中心となった現在でも、病巣を切除する外科という性格を有しています。肺をどこまで切除できるかが明らかになっておらず、当初は極めてリスクの高い手術でした。しかし、呼吸機能や肺循環への知識と理解が深まり安全限界に関する知見が確立した結果、肺切除の安全性は格段に向上し、比較的安全な医療が提供できる領域となったと言えます。しかし、とくに肺癌の手術は様々な合併症を有する確率の高い高齢者に実施することが多いなかで、麻酔技術を含めたさまざまな周辺領域の医療技術が時代とともに向上するに伴い、手術適応のより一層の拡大がはかれるようになり、よりリスクの高いケースを取り扱うことも稀ではなくなってきたと言えます。また、呼吸器外科領域においても胸腔鏡手術の導入によってより負担の軽い手術の実施が可能となり、このことが従来より高リスクの症例にも外科療法を導入できるようにし、さらなる手術適応の拡大をもたらしたと言えます。反面、内視鏡手術など負担の軽い手術を指向するには、よりレベルの高い技術の習得が不可欠であり、医療安全という観点からその教育システムが以前にも増して重要となってきていると言えます。

日本呼吸器外科学会は呼吸器外科専門医合同委員会を通して呼吸器外科専門医の認定に関わってきましたが、専門医取得の要件に医療安全セミナーへの参加を義務づけるなど、専門医制度において医療安全教育の重要性を早くから認識してまいりました。そのための取り組みとして、2006年以来学術集会においてほぼ2時間枠で医療安全セミナーを実施しておりますが、会員の医療安全への関心は高く、毎年会場に入りきれないほど多数の参加者があることから2011年の学術集会ではセミナー会場を主会場に変更をしたほどです。このセミナーは日本呼吸器外科学会総合医療安全管理委員会が毎年企画を練っているもので、医療安全や医療倫理はもちろん、時に具体的な実例などを提示して会員の意識の向上と教育を実践しています。さらにセミナーの内容をホームページ (<http://www.jacsurg.gr.jp/>) に掲載し、会員がいつでも閲覧できるように工夫しています。

また、日本呼吸器外科学会ではガイドライン検討委員会の活動を通して、安全な医療の実践のための手引きや指針の作成にも務めています。これまで、肺癌手術のリスク評価や重症筋無力症の周術期管理などいくつかの指針を作成しており、前者はすでにホームページ上で公開しました。全国の施設において同じようなリスク評価と適応基準で外科治療を実施できることが医療安全にも直結することであると思われます。今後も手術を中心とした呼吸器外科領域の多くの診療行為における指針を検討し作成していく予定です。また、内視鏡外科学会や日本結核病学会における内視鏡(胸腔鏡)手術や肺非結核性抗酸菌症の治療に関するガイドラインの作成にも参加協力し、より広い範囲で医療安全活動に寄与をしています。

特定非営利活動法人 日本呼吸器外科学会
理事長 近藤 丘

フォーラム・セミナー等のご案内

9目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門(目標7に関連)

定員に達したため締め切られました

日程：2011年7月10日(日)、8月7日(日)、9月18日(日)、10月16日(日)

場所：自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110619.pdf> をご覧ください。

第6回 医療安全管理者ネットワーク会議 (すべての目標に関連)

日時：2011年7月16日(土) 13:00～16:30

会場：(社)東京都看護協会 サークル室(東京都新宿区)

<http://www.tna.or.jp/dnn/tabid/98/language/ja-JP/Default.aspx>

主催：医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク

* 詳細は <https://www.qsh.jp/anzen/> をご覧ください。**肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto** (目標2・8に関連)**肺塞栓症予防国際フォーラム／肺塞栓症予防セミナー／市民公開講座**

[肺塞栓症予防セミナー]

日時：2011年7月23日(土) 10:20～18:00

会場：みやこめッセ 第1展示場 <http://www.miyakomesse.jp/>

[市民公開講座]

日時：2011年7月23日(土) 14:00～17:35

会場：みやこめッセ 大会議室 <http://www.miyakomesse.jp/>

[肺塞栓症予防国際フォーラム]

日時：2011年7月24日(日) 14:00～17:00

会場：グランドプリンスホテル京都 ゴールドルーム <http://www.princehotels.co.jp/kyoto/>

主催：医療安全全国共同行動、肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto実行委員会

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110723.pdf> をご覧ください。**アジアメディカルショー特別シンポジウム** (第11回アジアメディカルショー内)**医療安全全国共同行動支援セミナー**

～安全で質の高い医療をめざして～ (すべての目標に関連)

日程：2011年7月23日(土) 13:15～16:00

会場：福岡国際会議場(アジアメディカルショー第2会場) 福岡市博多区石城町2-1

<http://www.marinemesse.or.jp/congress/>

主催：九州医療機器団体連合会、福岡県医療機器協会

共催：医療安全全国共同行動

* 事前に参加のお申し込みが必要です。

* 詳細は <http://www.kyuren.jp/ams.html/saiji.html> をご覧ください。* 第11回アジアメディカルショー(7/21～23)については <http://www.kyuren.jp/ams.html/> をご覧ください。**NEW! 輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム** (目標5aに関連)

日程：2011年8月24日(水)・25日(木)

会場：テルモメディカルプラネックス EAST(神奈川県足柄上郡中井町)

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110824.pdf> をご覧ください。

監修：武蔵野赤十字病院 杉山良子

主催：テルモ株式会社 後援：医療安全全国共同行動

NEW! 第40回DAM実践セミナーin紀伊田辺(看護師枠で募集) (目標3bに関連)

日時：2011年8月27日(土) 9:00～15:10

会場：社会保険 紀南病院

主催：日本医学シミュレーション学会(JAMS)

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/110702.html> をご覧ください。

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈北海道室蘭地区〉

日時：2011年9月3日(土) 13:00～17:00(12:00から製品展示)

会場：室蘭市市民会館

〈岐阜地区〉

日時：2011年10月22日(土) 13:00～17:00

会場：長良川国際会議場 国際会議室(岐阜県岐阜市)

〈神奈川地区〉

日時：2011年11月5日(土) 13:00～17:00

会場：聖マリアンナ医科大学 臨床講堂(川崎市宮前区)

主催：日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

* 詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html> をご覧ください。**NEW! 心臓血管外科専門医認定機構医療安全講習会**

日時：2011年10月9日(日) 15:15～16:00

会場：名古屋国際会議場 <http://www.nagoya-congress-center.jp/>主催：第64回日本胸部外科学会学術集会 <http://www.congre.co.jp/jats64/index.html>

* 詳細は心臓血管外科専門医認定機構へお問い合わせください。

TEL.03-3812-4253 FAX.03-3816-4560

<http://cvs.umin.jp/> cvs-master@umin.ac.jp**NEW! 日本精神科看護技術協会主催****医療安全推進フォーラム in 広島**

日時：2011年11月19日(土) 10:00～16:00

会場：RCC文化センター <http://www.rccbc.co.jp/> (広島県広島市中区橋本町5-11)* 詳細は <http://kyodokodo.jp/111119.html> をご覧ください。**NEW! 日本精神科看護技術協会主催****医療安全管理者養成研修会**

日時：2012年2月6日(月)～10日(金)

会場：京都研修センター(烏丸ビル8階)

* 詳細は日本精神科看護技術協会ホームページ <http://www.jpna.jp/> をご覧ください。**NEW! 日本精神科看護技術協会主催****委員会シリーズ 医療安全(仮)**

[東京]

日時：2012年1月18日(水)

会場：東京研修会場(品川キャナルビル7階)

[京都]

日時：2012年2月22日(水)

会場：京都研修センター(烏丸ビル8階)

* 詳細は日本精神科看護技術協会ホームページ <http://www.jpna.jp/> をご覧ください。

ひとことアドバイス

周術期肺塞栓症の予防(目標2)



大阪厚生年金病院 整形外科主任部長
富士 武史

静脈血栓塞栓症予防における合併症に要注意

静脈血栓塞栓症の予防には様々な方法があり、リスクに応じて予防を行っておられることと思います。静脈血栓塞栓症は手術等に伴う重大な合併症ですが、予防に用いる手技、薬剤にも副作用や合併症があります。

一見副作用がないと思われる弾性ストッキングにも、皮膚炎や腓骨神経麻痺などの合併症が報告されていますし、間歇的空気圧迫法でも腓骨神経麻痺やコンパートメント症候群が生じたという報告も見られています。静脈血栓塞栓症の予防に用いる抗凝固薬は、静脈血栓塞栓症の発生率を低下させるとともに、肺血栓塞栓症が生じた場合の死亡率を減少させることが知られています。このように抗凝固薬は死に至る肺血栓塞栓症を予防するうえで、静脈血栓塞栓症の高リスク患者では重要な役割を持っていますが、血液を凝固させないようにする作用は、出血が始まった時に止まらないことになるので出血合併症が増えることが考えられます。一般に効果が強ければ出血合併症も生じやすいと考えられますので、抗凝固薬の予防的使用に当たっては、適応をしっかりと検討するとともに、用法用量にも注意する必要があります。

手術や治療には合併症が存在しますが、合併症を避けるために行う行為にも、合併症が生じることを十分に理解していただきたいと思います。

*ひとことアドバイスは、[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「相談室」](#) → 「ひとことアドバイス」からご覧ください。

フォーラム・セミナー等のスケジュール

7月10日(日)、8月7日(日)、9月18日(日)、10月16日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門	8月27日(土) ▶ 第40回DAM実践セミナー in 紀伊田辺
7月1日(金) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター講習会(仙台地区)	9月3日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター講習会(北海道室蘭地区)
7月16日(土) ▶ 第6回 医療安全管理者ネットワーク会議	10月9日(日) ▶ 心臓血管外科専門医認定機構医療安全講習会
7月23日(土) ▶ 医療安全全国共同行動支援セミナー (アジアメディカルショー特別シンポジウム)	10月22日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター講習会(岐阜地区)
7月23日(土) ▶ 肺塞栓症予防セミナー、市民公開講座	11月5日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター講習会(神奈川地区)
7月24日(日) ▶ 肺塞栓症予防国際フォーラム	11月19日(土) ▶ 第6回 医療安全推進フォーラム in 広島(日精看主催)
8月24日(水)・(木) ▶ 第2回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム	2012年1月18日(水) ▶ 委員会シリーズ 医療安全(日精看主催)
	2月6日(月)~10日(金) ▶ 医療安全管理者養成研修会(日精看主催)
	2月22日(水) ▶ 委員会シリーズ 医療安全(日精看主催)

★ウェブマガジンは毎月1回、配信いたします。院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>